

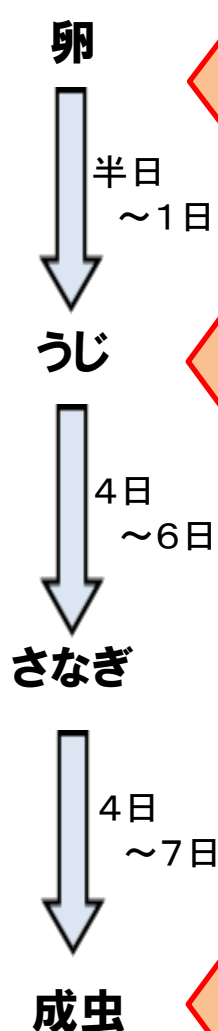
家畜衛生情報



ハエの防除対策をしましょう

気温が上昇し、ハエの発生が始まる時期となりました。
対策を怠ると大量発生し、家畜のストレス・病原体の媒介・近隣からの苦情など
深刻な弊害が生じます。効率的な防除に努めましょう。

ハエのライフサイクルと対策



★卵・幼虫対策★

1. 産卵場所となる蓄積された糞やこぼれ餌などの清掃
2. 堆肥発酵熱によるうじの退治
発酵熱が50℃以上で致死率は高くなるため、1～2週間間隔で堆肥の
切り返しを行いましょう！
3. 殺虫剤の散布（幼虫用）
うじの発生場所である糞や堆肥に脱皮阻害剤（IGR剤）を希釈して
1か月毎に散布しましょう。
* ハエが増えてきたら散布回数を2週間間隔に増やしましょう。
* 散布する間隔が空き、薬効に切れ目をつくると十分な効果が
得られません。

成虫よりも数が多い卵や幼虫への対策が効果的です！

★成虫対策★

1. 粘着シートの設置
畜舎と外部の境界や飼槽付近に、地面から高さ1m以内での設置が
効果的です。
2. 殺虫剤の散布（成虫用）
ハエが畜舎内に入る曇天や雨天時がチャンスです。有機リン剤や合成
ピレスロイド系の殺虫剤が効果的です。
* 薬剤抵抗性による効果減弱を防ぐため、使用薬剤を複数交互に
用いるとよいでしょう。
3. 毒餌
ハエを引き付ける餌（砂糖、お酒など）と有機リン剤やカーバメイト剤
など薬剤を混ぜてハエが集まる場所に設置または塗布します。

◎成虫が少ない時期から予防的に対策することが重要です◎